

第5回全国OV教員・教育研究シンポジウムを実施します

- JICA 横浜を拠点に全国へオンライン配信 -

2021年12月26日、全国OV教員・教育研究会とJICA主催の「第5回 全国OV教員・教育研究シンポジウム」をオンライン上で実施します。国際協力の経験を日本の教育現場に活かすことを目的に、帰国隊員からの実践報告、講座「協力隊経験で得られる力」、また参加者間の交流を行います。

OV教員（JICA海外協力隊経験を持つ教員の意。OV…Old Volunteer）が立ち上げた全国組織「全国OV教員・教育研究会」は「協力隊を日本の文化にする」をテーマに、同シンポジウムを過去4回、JICAと共同で実施してきました。過去3回は関西での実施でしたが、前回から拠点を横浜へ移し、JICA 横浜（横浜市中区）内の運営事務局より全国へオンライン配信を行います。

昨年は約200名の参加者を集めた同シンポジウム。日本国内の「多文化共生」が重要視されるなか、今回も協力隊経験者・派遣予定者に加え、協力隊事業や国際理解教育に関心のある方々をも広く巻き込み、オンライン上でともに学び合う場を作ります。

是非取材をご検討ください。

記

日程：2021年12月26日（日曜日） 13時00分～16時50分（受付12:45～）

場所：オンライン開催（Zoom）（当日の運営事務局をJICA横浜内に設置）

主催：全国OV教員・教育研究会、独立行政法人国際協力機構（JICA）

後援：文部科学省、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、ESD活動支援センター

*添付のチラシをご参照ください。

以上

【本件に関する お問い合わせ先】
JICA 横浜 市民参加協力課 成田 祐香 TEL 045-663-3253 e-mail: Narita-Yuka@jica.go.jp

JICA海外協力隊 (二次案内)
第5回 全国OV教員・教育研究シンポジウム

協力隊を
日本の文化にする
～ 途上国経験を通して
得られる力の活かし方～



日時 2021年12月26日(日) 13:00～16:50 (受付 12:45～)

場所 オンライン開催(Zoom) ※参加費無料

ねらい 途上国での人づくり・国づくりに関わった経験を日本の教育の場で活かすため、全国の仲間が集い、多文化共生やグローバルといった視点で実践を交流するとともに、これから派遣される教員に役立つ情報と元気を共有する。

内容

- ◆帰国隊員からの実践報告
横 正智氏 (バヌアツ、小学校教諭、2001年度2次隊)
山形大学附属小学校教諭
- ◆講座『協力隊経験で得られる力』
丸山 一則氏 (ホンジュラス、技術科教師、1988年度3次隊)
元パキスタン・カラチ日本人学校長、元兵庫県公立小中学校長、現県立兎和野高原野外教育センター所長
- ◆助言者
佐藤真久教授
東京都市大学環境学部
全国OV教員・教育研究会顧問

主催 全国OV教員・教育研究会
独立行政法人国際協力機構(JICA)

後援 文部科学省
神奈川県教育委員会
横浜市教育委員会
ESD活動支援センター

	内 容
12:45	入場受付
13:00	開催セレモニー
13:15	運営案内・機械操作の注意事項等
13:20	◆帰国隊員からの実践報告
13:40	◆講座～協力隊経験で得られる力～
14:00	ブレイクアウトセッション① 参加者による意見交流 「途上国で得られる力」について
14:30	休憩
14:40	意見共有
14:50	ブレイクアウトセッション② 参加者による意見交流 「途上国で得られる力」の活かし方について
15:10	◆事例報告を受けたまとめ
15:30	3学期に準備すること
15:40	ブレイクアウトセッション③ 学びの共有、全体発表
16:20	終了セレモニー
16:50	終了

【全国OV教員・教育研究会より】

学校のグローバル化について様々な課題に直面している学校現場において、教員のグローバル化も強く求められています。それは、単に語学ができるということではなく、異なる立場の考え方や少数の立場を理解しつつ、物事を多面的にとらえ、臨機応変に対応できるような理解力・受容力・実践力も重要となります。特に「臨機応変」については、今般の新型コロナ対策でも必要とされている教員の資質能力といえると思います。

JICA海外協力隊は、文化・言語・考え方等が全く異なる途上国において、現地の人々と一緒に様々な課題の解決に取り組みますが、自分がマイノリティの立場になり、失敗や挫折も重ねながら、人々と協働した経験は、自身の成長・成熟にもつながることになります。今、こうした経験をもった教員が、現地で培った理解力や受容力、実践力を教育現場で活かしています。

全国OV教員・教育研究会は、そんな教員が世界で、日本で生き生きと活躍できるよう、一人ひとりの想いや経験を共有する場を作り、学校・教育委員会・地域社会・市民団体等とのネットワークを強化しながら、実践的な教育を実現することを目的に活動しています。

【帰国隊員からの実践報告】 横 正智氏
**題：協力隊経験を活かした小学校現場での実践
～2020年度 小学校第5学年の授業実践から～**

協力隊に参加したのは20年前になりますが、今でも任国の景色や一緒に働いた仲間たちのことは鮮明に覚えています。新卒隊員として派遣された2年間の活動で感じたこと、その後の教員人生にどんな影響を与えたのかを踏まえて、2020年度コロナ禍の学校で「総合的な学習の時間」を中心とした取組について紹介します。


【講座】丸山 一則氏
題：協力隊経験で得られる力～12の経験知～

途上国における教育経験がもたらすものとして、これまでざっくりと「人間的な成長と経験の豊かさ」でくられてきた。でも、これっていったい何だろう。人によってそれぞれ違うはず。その成長と豊かさを佐藤先生が「12のキーワード」にしてくださいました。「腑に落ちた。自分は途上国でこれを身につけたんだ。」と。皆さんの経験を共有して、みんなで元気になりましょう。


『12の経験知』とは…

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 深く交流する
場の力を活かした異文化交流、心と心の交流 2. 相手の立場で考える
相手目線・自己中心性からの脱却 3. 少数の立場を理解する
マイノリティ・社会的弱者の経験 4. 多様性を理解する
異文化理解、多様性の理解 5. 関係論的世界観
つながり、かかわり、相互依存と共生 6. 異なる視座と寛容性を持つ
完璧主義・努力偏重主義からの脱却
～べき論から自分の心を自由にする～ | <ol style="list-style-type: none"> 7. 臨機応変・危機対応
状況的な対応・融通性をもつ
～リスクを察知し、リスクに対応する～ 8. 受援力
相手の力を借りる、助け合う
～自己責任のプレッシャーから解放つ～ 9. 価値を共創する
チャレンジ精神・主体性をもって、他者と協働し、
価値を共に創る 10. 欲求不満耐性
思いどおりにならない・忍耐力を身に着ける 11. 深い孤独・深い自己肯定
精神性の深みを生きる、人生の自己点検
～自分らしい生き方、承認欲求からの脱却～ 12. 人生の使命・幸福⇄共同体感覚
世の中・地球のために生きること
～地球市民性、主体性とチャレンジ精神～ |
|---|--|


申込み方法

下記URLまたはQRコードにアクセスいただき、申し込みフォームに沿ってご記入ください。※先着順250名
<https://forms.office.com/r/eBERZndtsG>

問い合わせ先

問い合わせ先：JICA青年海外協力隊事務局 人材育成課
 (jvthd@jica.go.jp)

